

平成28年度 内灘町地球温暖化対策地域協議会
議事録

日 時 平成28年11月30日(水)
午前10時00分から午前11時30分

場 所 内灘町役場 3階 301会議室

出席者 ・ 委員 鈴木委員、吉村委員、一枚田委員、表井委員、西田委員、
中 委員、明地委員、堀 委員(代理宇波氏)、北川委員、
河崎委員、棚田委員(代理橋本氏)、上出委員(代理堀川氏)
計12名 欠席 源代委員、荒木委員

・ 事務局 本 環境安全課長、川本総括主査、夷藤主事

委嘱状の交付

会長挨拶

報告事項

- ① 内灘町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)進捗状況報告について(平成27年度分)
- ② 内灘町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)進捗状況報告について(平成25年度分)
- ③ その他

委員から出された主な意見の概要

事務事業編について

委員：ガソリン車から電気自動車への転換について、二酸化炭素の排出量はガソリン車よりも電気自動車の方が少ないのか。

事務局：電気自動車の方が二酸化炭素排出量は少ない。

委員：一般の人でも利用できる電気自動車の充電スタンドが増えているが、利用率は増えているのか。

事務局：内灘町内ではサイクリングターミナル、道の駅、役場に町が設置した充電スタンドがある。ターミナルでは590件の利用があり認知もされ昨年より倍増した。

委員：ターミナル等の充電スタンドは町外の方も使うと思うが、その料金との採算は取れているのか。

事務局：使用料金はカードで利用者が支払うが、電気料金は一旦町が支払っている。その電気料金分は国の補助団体から還元されるようになっている。機器の保守点検の費用もその団体から出るようになっていて、町の負担は発生しない。

会長：全体としてなかなか二酸化炭素排出量の削減に至っていないようだが、今後の見通しはあるか。

事務局：ピークカットを目的とした太陽光と蓄電池の設備を向粟崎小学校に昨年度末に導入した。環境省の補助を受けながら、他の学校にも順次設置していきたい。施設の更新時に国の補助を利用しながら、効果的に進めたい。

会長：公共施設の対策が進むと、周りの意識も高まるのでぜひ頑張ってもらいたい。

区域施策編について

委員：非エネルギー起源の温室効果ガス排出量では、内灘町は河北潟干拓地酪農団地などがあるから多いのか。牛糞の堆肥化の施設も町にはあるがそこからもガスがたくさん出るのか。

事務局：施設からの排出量についてはデータを持ち合わせていないので分からない。家畜からのメタンガス排出量については牛の頭数と係数から算出したものである。

委員：堆肥化施設から出るメタンガスの再利用等も行われているのか。福井県池田町では、堆肥化事業で出るメタンガスを温室などに有効利用していると聞いた。町もそのような働きかけをしてほしい。

会長：国の2030年に2013年度比で26パーセントの削減という目標があり、これから石川県の環境部としても目標が定められ、すり合わせが行われることと思うが、目標を設定してそれに至る道筋を作っていく方法をとらないと、ただ頑張っていくと言うだけでは目標は達成できない。町の2030年までの展望は何かあるか。それがあつことで、町民の努力もしやすくなると思う。

委員：官公庁だけでは限界があり、住民としては一人一人が削減していかななくてはならないと思う。県の家庭版いしかわ環境ISO取組シートがもっと行き渡るような方法はないか。

委員：県としては4つのISOということで家庭版、地域版、学校版、事業者版を展開している。学校での取り組み、環境教育が家庭に波及していくよう、学校版、家庭版あわせて取り組んでいただいている。あわせて県ではクールシェア、ウォームシェアの運動を行っている。今年初めてウォームシェアを開始した。北陸での電力需要は夏よりも冬の方が多く、夏場の倍近くになる。特に夕方帰宅する7時ごろからの使用が多くなる。各部屋の暖房を消し、一つの部屋に集まる、外出して家庭の電力を抑える等の運動も展開させている。

委員：クールシェアは、住民の方で知らない人が多かった。

事務局：町としても広報を行っているが浸透までは難しい。

会長：目標の数字だけではなく何をやるかをしっかりと示して努力していくことが必要だと思う。内灘町が率先して行うことで県全体に波及させていければ良い。

委員：削減の方法等も家庭の皆さんに知らせなければ意味がないので、広報や回覧板など周知を徹底してほしい。アクションプランやクールシェアに組み込み、応募をするとチケットをもらえる等の特典があるという情報には反応を示す人も多いと思う。

委員：医科大の二酸化炭素排出量はここ数年で一番多い。原因は今医科大の改修工事を行っているためで、完了すれば省エネ仕様の施設になる予定である。

その他

会長：今日の議論で出されていたように、町民の方々によく知ってもらうにはどうすればいいのか考えてほしい。環境関連予算の中で環境費や衛生費が示されているが、例えば学校教育がおおまかにどのように関わっているか、どのような努力をしているか、目に見える形で示されていない。次回にはどのような努力をすればいいのか、どのような努力を行ったのかを示してほしい。また、それを町民の方々に理解してもらう努力も同様に重ねていただきたい。